

Ⅱ 地域毎の農業の特徴

【道央地域】

(空知・上川・留萌・石狩・胆振・日高)

稲作の中核地帯を形成しているほか、野菜、軽種馬、肉用牛など、地域の特徴を生かした農業を展開している。

農業の特色により以下の3地域に細分。

- ①稲作地域(空知・上川・留萌)
- ②稲作及び野菜地域(石狩・胆振)
- ③軽種馬地域(日高)

【道南地域】

(渡島・檜山・後志)

水稻が各地で栽培されているほか、野菜作や果樹作、酪農などが盛ん。

道内では最も温暖な気候に恵まれ、集約的な農業が展開されている。

【道東(酪農)・道北地域】

(釧路・根室・宗谷)

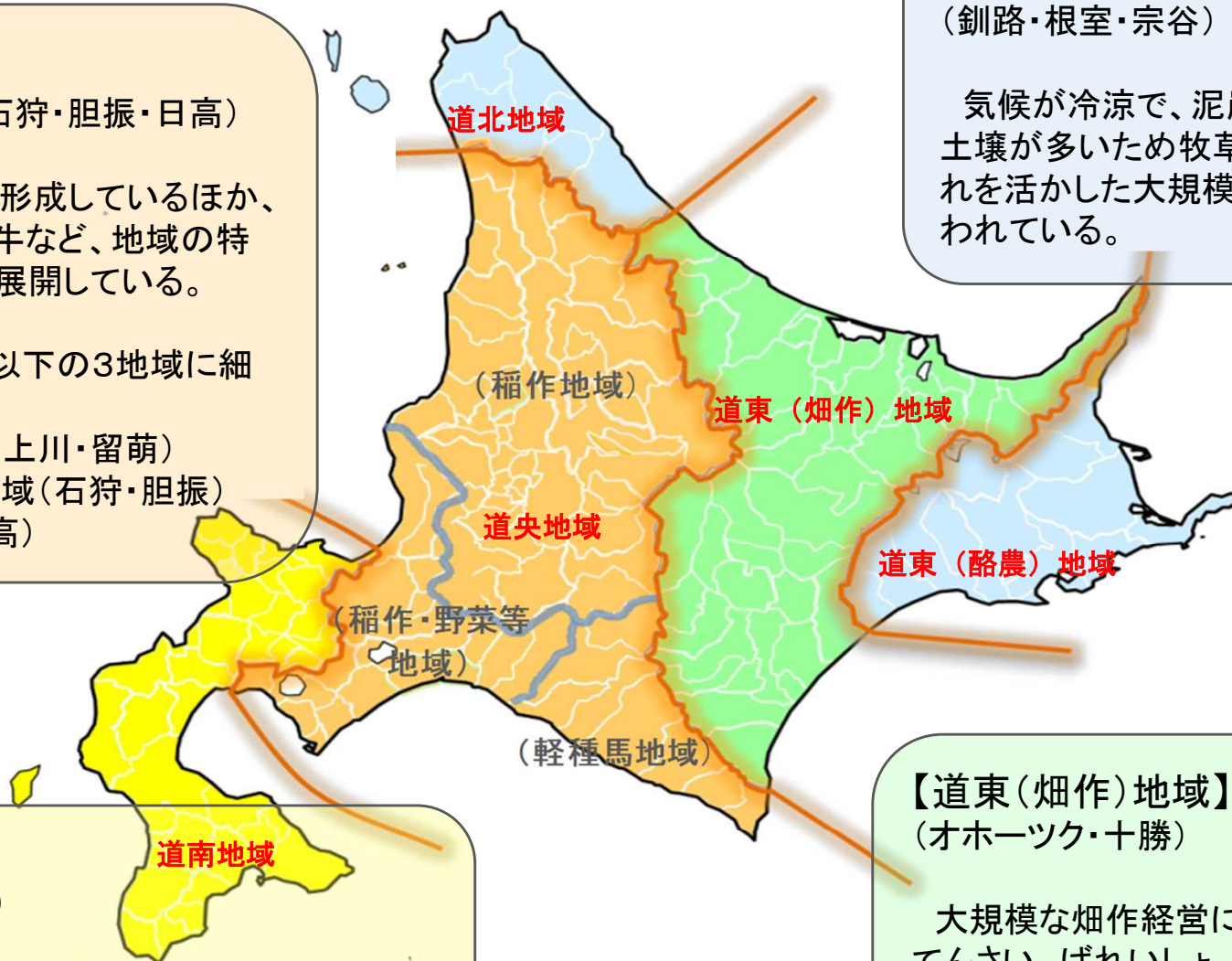
気候が冷涼で、泥炭地などの特殊土壌が多いため牧草地が中心で、これを活かした大規模な酪農経営が行われている。

【道東(畑作)地域】

(オホーツク・十勝)

大規模な畑作経営により、麦類、豆類、てんさい、ばれいしょ、たまねぎなどの輪作による生産が盛ん。

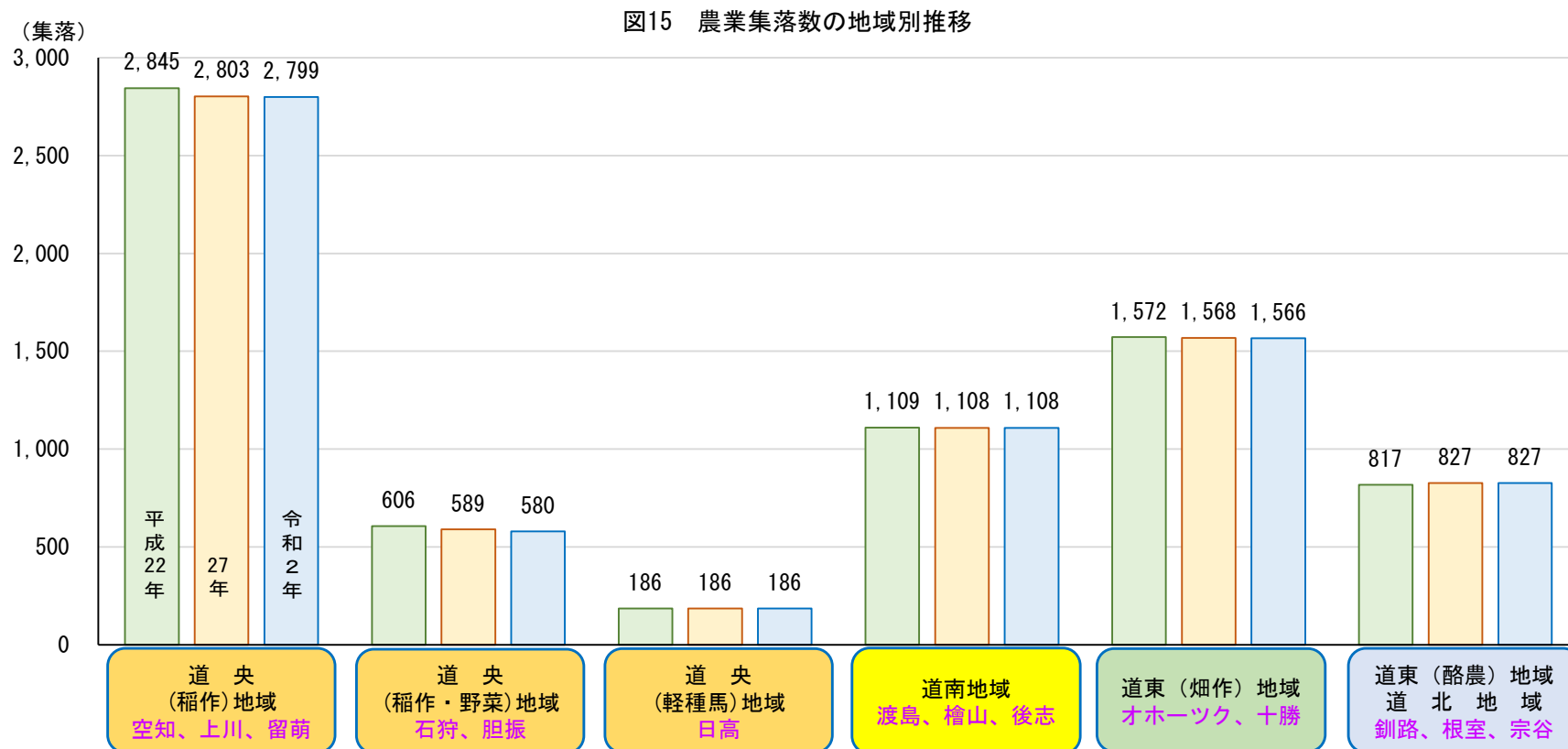
また、大規模な酪農経営も行われている。



Ⅱ 地域毎の農業の特徴（つづき）

1 地域別農業集落数の推移

・農業集落数を地域別にみると、道央（稲作）地域が2,799集落で最も多く、次いで道東（畑作）地域（1,566集落）、道南地域（1,108集落）となりました。また、5年前に比べて、道央（稲作）地域、道央（稲作・野菜）地域、道東（畑作）地域は減少しましたが、道央（軽種馬）地域、道南地域、道東（酪農）地域及び道北地域は変動がありませんでした。（図15）



Ⅱ 地域毎の農業の特徴（つづき）

2 地域別にみる寄り合いの回数規模別農業集落数の構成割合

図16 地域別寄り合いの回数規模別農業集落数の構成割合（令和2年）

